

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170202857		
法人名	有限会社 のどか		
事業所名	グループホーム のどか		
所在地	札幌市北区5条3丁目10-26		
自己評価作成日	令和2年9月22日	評価結果市町村受理日	令和2年10月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

拓北駅から近い住宅街でサービスを開始し、理念である「地域の中で自然とふれあい」を実現するため行事に参加し、交流してきました
今年度は、コロナのため実現できなくなりましたが、利用者様にどのような「たのしみごと」を提供できるか検討しております

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhovu_detail_022_kani=true&JigvovsvoCd=0170202857-00&ServiceCd=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和2年10月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームのどか」はJR拓北駅や広大な拓北公園近くに位置する1ユニットの事業所である。運営法人は他に住宅型有料老人ホーム、訪問介護事業所、共用型通所介護事業所等を経営し高齢者福祉に尽力している。今年度コロナ禍により様々な事が自粛となっているが、例年、のどか祭りやクリスマス会などの事業所行事に地域住民を招待したり、あいあい祭り、拓北盆祭り、文化祭などの地域行事への参加、養護学校との交流やボランティアの受け入れ、隣接グループハウスの方々との触れ合いもある。また近所の方がお花を持って立ち寄ってくれたり差し入れがあるなど普段着のつきあいがある。毎月のミーティングでは身体拘束について話し合い、利用者一人ひとりへ不快にならない言葉がけはどうかを話し合うなど、確認と改善に向けた事業所全体での取り組みが行われている。職員の観察や洞察力が高く、本人がどうかの視点を持ち今後のより良いケアに結びつける介護計画を作成している。赤ちゃんを見ると笑顔で穏やかになる方へは子育て雑誌を家族の協力を得てサポートしたり、食事が進まなかった方では家事手伝いをプランに盛り込み支援した結果、状態が改善し活性化されるなど効果が現れている。利用者の誕生会は月まとめてではなくその日に祝い、季節の行事食や出張前寿司など食も豊かに提供している。理念にある、自分らしくのどかな生活を笑顔で過ごしてもらえよう本人とともに過ごし支え合う関係を築いている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に掲示しており、職員は常に意識して努めている	地域密着型サービスの意義を盛り込んだ理念を標榜し、当理念を根幹とした5つのケア理念を掲げている。カンファレンス等で理念の確認や話し合いへとつなげる機会があり、職員の意識づけとなっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年は不可能だったが、地域の行事等に参加し交流している	近隣住民がお花を持ってきてくれたり、養護学校の生徒がウエスや演奏収録のDVDを届けてくれている。コロナ禍で中止となっているものの例年、地域との交流は盛んで、事業所と町内会行事での相互交流、実習生や小学生体験学習の受け入れ等が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のケア施設町内会を通して認知症の理解を広めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でホームの状況を報告し、意見を参考としている	当年度5月は書面会議での開催とし実施されている。隣接の有料老人ホーム(ハウス)とは交流の機会を設けており、合同会議として開催する月もある。例年、町内会、家族の出席が良好である。コロナ禍対策について報告や協議を行っている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者と連絡をとりあって、日頃より協力関係を築いている	市や区との連絡等は統括部長が中心となり連携を図っている。管理者は市や区の会議に出席し、そこでの研修等で得た知識や技術を事業所へ還元している。事業所では地域包括支援センターからの講師依頼に応じたり、地域住民の福祉相談に応じている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングで身体拘束について話し合っている 現在は新規入居者が落ち着くまで施錠している	身体拘束廃止のための基本方針を定め、3か月に1度身体拘束廃止委員会を開催し、年2回これらに係る内部研修を実施している。ミーティングやカンファレンスでスピーチロック等を確認し、不快にならない言葉への置き換えの定着に努めている。混乱の要因を取り除くケアのあり方を検討し支援に活かしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内、社外にて高齢者虐待防止法について学んでいる		

グループホーム のどか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等で、制度について学ぶ機会を、もつようしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時契約を、交わすときに説明し理解を得ている質問には詳しく答えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に目安箱の設置をしている 来所や電話で意見や要望を伺っています	利用者から買い物やヘッドホンの取り扱いについての要望に応じたり、本人の転倒リスク軽減策として家族からの意見等を検討し、リビング近くの空き部屋に居室移動を行うなど反映させている。のどか通信に個別の便りを付け意見を出してもらおう仕組みがある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングにて職員の意見を聞き、可能な限り反映している	年1回代表者が職員との個別面談を実施し働く意欲の向上や質の確保につなげている。毎月1回のミーティングでは、運営に係る案件やカンファレンス等でも職員から様々な意見を出してもらっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談等で状況を把握して、就業環境整備を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の資格に応じた、研修参加の機会を与えてくれている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	実習生の受け入れ 外部研修参加で、情報交換を行っている(今年においては少ないです)		

グループホーム のどか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の困り事を表現できない方もいるので、ご家族からも聞いて対応している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人やご家族から要望を聞き、良好な関係作りをしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現状を見極め、一番必要な支援を提供している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることをしていただき、“できないこと、は支援してともに暮らす者同志の関係を、築いている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	出来ることをしていただき、“できないこと、は支援して感謝の気持ちを伝えるようにしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人が、いつでも来ていただける様、支援に努めている	コロナ禍で今年度は難しい状況であるが、例年地域の行事等の中で人々と交流し馴染みの関係や親しみ合う関係が保たれている。家族や親族との交流面会は感染症予防対策を取りつつ状況を鑑みながら徐々に再開させている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が孤立しないよう職員が、間にはいってコミュニケーションを取れるように配慮している		

グループホーム のどか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、相談や支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いを把握し、困難な方は職員が推測し検討している	本人や家族から思いや意向を確認したり、表情などから検討している。居室でテレビをゆっくり見たい方、部屋の整理や赤ちゃんが好きな方など、何が本人の希望であるか一人ひとりに関心を寄せ把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から生活歴を聞き、ご本人らしく暮らせるように配慮している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活から心身状態を把握して		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングのカンファレンスでの、意見を反映して介護計画書を作成している	毎月のミーティングでのカンファレンスや利用者のニーズ・生活の現状を各担当職員がモニタリングし、今後のより良いケアを検討している。介護計画は利用者本人の意向や関係者の意見を交え作成している。日常生活動作が向上し活性化につながった事例もある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や連絡帳(職員用)気づきを記入して、情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族のニーズに合わせて、柔軟な支援を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の地域資源を有効に活用して、暮らしが豊かになるよう取り組んでいる		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の体調や家族の要望を医師に伝え、適切な医療を受けられるよう支援している	月2回の内科医、週1回の歯科医の訪問診療の体制を整え、必要に応じ他科受診やメンタルのデイケア利用をサポートしている。職員として看護師を配置し、症状の早期発見や健康管理の下、適切な医療支援につなげている。	

グループホーム のどか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回勤務している看護師に、利用者の体調をつたえ、個々の状態を共有して適切な処置を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際、ご本人が安心して治療できるよう見舞いに行っている 早期退院できるよう病院関係者に利用者様の情報を提供している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時、入所の際、意向を確認している。体調の変化があるときも、その都度確認して最後までご本人らしく生活できるよう支援している	利用者が重度化した場合の対応指針を整備し、利用契約時に家族等へ説明している。利用者の状態変化に応じ医師や家族等と話し合い持ち方針を定めている。これまで10名のターミナルケアに尽力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員で話し合い、マニュアルを作成している。初期対応の訓練を定期的に行っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	状況に合わせて避難訓練を行っている 職員が地域の避難訓練に参加している	年2回昼夜を想定した火災避難訓練を実施している。今年1月は消防署の協力や指導を得ており、9月に地震想定訓練を行っている。災害備蓄品を確保している。	避難訓練への地域住民の参加、家族への広域・収容避難場所の周知、避難先の確認や避難生活を想定し課題を分析するなど、防災対策を強化する意向であるので、その取り組みに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し、言葉遣いも気を付けている	入社時に接遇研修を行い、言葉使いや対応についてミーティング等で話し合っている。個別の記録物等は外部者から見えない場所に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるよう本人に声かけしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースを優先し、その日の体調にあわせた支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人に服を選んで頂いたり、身だしなみの支援をしている		

グループホーム のどか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付けを利用者と職員で行っている	献立は利用者の好みを反映させ、職員が1週間ごとに立てている。利用者もできるところで食事一連の作業に参加している。年に2回の外食はコロナ禍で自粛となり今は出張出前寿司やたこ焼き職人を招いたり誕生日やイベント時のご馳走を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は、日誌に記入して管理している。食事の量も形状も個々に合わせている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている 出来るところは本人にやって頂いて、仕上げは職員が行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄のタイミングを把握して失敗を少なくしている	個々に排泄チェック票を付けパターンを把握し誘導している。トイレの場所を分かりやすく表記したり、ポータブルトイレの利用等個別に工夫している。失敗した場合など自尊心を傷つけないようさりげなく、やさしく対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の摂取を、促している 一人ひとりの予防を看護師と対応している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時間は希望にそえてはいるが、本人がリラックスして入れるように支援している	週2回の入浴を支援している。足腰が弱くなくても安心して湯船に浸かれるよう機械浴を導入している。希望の入浴剤、肌の状態によりタオルやボディソープの工夫をしており、リラックス出来るよう心がけている。入浴後は保湿剤を使用し皮膚のトラブルを防いでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望や、体調をみながら日中も休んでいた		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は、個々にあった方法でしていただいている。副作用があった場合は医師に相談している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人のたのしみ事を見出し、楽しく過ごせるよう支援している		

グループホーム のどか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事など全員で、外出することはあるが、本人の希望での外出はなかなかできていない	例年、地域交流や行事的な外出、家族の協力を得ながらの個別外出など、積極的に出かけている。コロナ禍により通常の外出は控えられているが、近くの公園へ出かけたりコンビニエンスストアへ買い物に行っている。夕方も周りを散歩するなどして気分転換を図りストレスや閉じこもりにならないようにしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を管理できることは難しく(持っていることで不穩になる)所持している人はいない		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙の取次等の支援をしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレは、利用者様がわかりやすい様表示している。季節がわかる様な飾りつけをしている	ダイニングとリビングが一体的な作りで共用スペースは温かみがあり、窓際には大きなソファが置かれ、ゆったりと寛げる空間である。壁には季節感のある飾りつけや、行事の写真が貼られ楽しい雰囲気となっている。トイレ等が分かりやすく表示され見当識に配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が、過ごしやすい様にその人にあったクッションを使用して居る 利用者様はソファ席やテーブル席ですごしやすいところで過ごしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は個人の使い慣れたものを、配置して居る	介護用ベッド、クロゼットが備え付けられ、窓が大きく明るい空間である。利用開始前に使っていた馴染みのあるタンスやソファ等使い慣れたものを置き、不安や戸惑いを少なくし、居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内に手すりを設置し、自立した歩行ができるようにしている(見守りは必要)トイレには表示をしています		

目標達成計画

事業所名 グループホームのどか

作成日：令和 2年 10月 20日

市町村受理日：令和 2年 10月 22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練への地域住民の参加、家族への広域・収容避難場所の周知、避難先の確認や避難先生活を想定し課題を分析するなど、防災対策を強化する意向であるので、その取り組みに期待したい	地域・近郊施設と連携をとり避難訓練を行う 避難場所の確認をする	町内会の訓練に参加するのは、難しいので地域の方に来て頂けるようお願いする 避難方法についてもミーティング等で話し合う 避難先についても通信でご家族に伝える	12か月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。